

意見書集約表

1. 議事事項について

(1) 令和 4 (2022)年度事業計画 (案) について

承認	非承認
34	0

2. 議事事項等への御意見等について

(1) 令和 3 年度(2021)事業報告について

森林資源情報 高度化WG	・ 山林の地形データ等の海外流出が問題になりつつあり、そのデータセキュリティについて検討すべき。今後導入可能性のあるドローンレーザ計測による地形データ等の運用についても同様。
	・ 航空レーザ計測の情報のアップデートを 5 年ごとに行うなど、将来の予定も検討すべき。
未来技術導入・検証WG	・ 採種園管理に薬剤散布ドローン等を活用できる可能性がある。

(2) 令和 4 年度(2022)事業計画(案)について

R4年度スケジュール 未来技術 導入・検証 WG	・ ICTハーベスタによる丸太造材時の機械検知のみで、丸太を山から購入する側へ直送し取引できることを目標としているので、購入側が求める現状の基準（人力検知）に対する機械検知の精度等との比較検証についても計画に加えてはどうか。 ・ ICTハーベスタによる造材データには欧州で利用されているデータ様式から抜粋した項目に、日本独自の末口二乗法による材積算定値を追加しており、現場から送信したデータをウェブアプリで項目を表示できる仕組みとしている。表示項目が必要十分であるかの検証についても検討すべき。
--------------------------------	--

(3) その他

未来技術 導入・検証 WG	・ ドローンによる苗木運搬や薬剤散布、多目的造林機械による地拵えや下刈が実用化可能となった場合、これら未来技術を使った作業が現場で普及していくためには、造林補助事業の補助対象となることが重要。今後、補助対象にするまでのロードマップを検討すべき。
------------------	--